

令和8年3月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和8年3月25日(水) 午後2時00分
閉 会 : 令和8年3月25日(水) 午後3時11分
会 議 場 : 歴史文化伝承館5階第1会議室

出席委員 : 1番委員 浅海 純一
2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 山越 達也
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 峯岸 克典
保健給食課長 内海 典子
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和8年3月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、4番委員及び1番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和8年2月24日に開会された2月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 初めに、尾田蒔中学校の教頭が、2月13日(金)に外出先で、くも膜下出血により救急搬送され、入院手術を無事に終えたものの、意識が戻らぬまま、2月28日に逝去された。教頭としての経験は3校で、年齢も若く、日頃から明るく元気に職務に専念していたので、今後の活躍を多くの方が期待していた。市の教育委員会としても、病気とは言え、この上ない悲しみであり、残念である。教頭不在の間は、校長を中心に卒業式などの対応を進めていただいたが、教職員、生徒、保護者、地域の皆様には多大な心配と迷惑をおかけした。在職中に多くの尽力をいただいた教頭の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

吉田中学校の校長が3月3日(火)に自宅から緊急搬送され、脳出血の手術も成功し、現在は療養中で、意識も回復している。医師の診断によると、令和8年度はリハビリを要するため休職となる。吉田中学校では、校長不在の間に教頭を中心とし、教職員協力のもと卒業式を無事に行うことができた。校長の早い回復と元気な復帰を願い、両校とも先生方に深く感謝する。

また、委員の皆様にはご多用の中、昨日の小学校、先々週の中学校の卒業証書授与式に出席いただき、教育委員会の祝辞への対応、感謝申し上げます。4月には各学校での入学式があり、同様に対応をお願い

申し上げる。

最後に、9月定例会で報告した令和7年度全日本学校関係緑化コンクールの学校環境緑化の部で、久那小学校が秩父地区及び埼玉県コンクールで最優秀賞を受賞し、全国コンクールに進んでいた。このたび、その結果が発表され、特選賞1校に次ぐ準特選賞2校のうちの1校として、国土緑化推進機構会長賞、衆議院議長賞を受賞した。

1 番 委 員 : 2点報告する。

1点目、3月1日(日)に秩父地区文化財保護協会主催の古秩父湾国天然記念物指定10周年特別イベントに参加した。地質学や古生物学の観点から、古秩父湾の姿を見直す講演と座談会が行われた。講演者に、「ブラタモリ」で秩父の地層について解説された地質学者の高橋氏が来られた。また、岐阜県瑞浪市の学芸員や福井県立大学の恐竜学科の准教授も来られ、さまざまな講演や座談会を拝見した。秩父の歴史の深さを改めて認識できる良い機会となった。最後に、質問コーナーがあり、小学生2人の女子児童が「パレオパラドキシアは海を泳ぐイメージがあるが、化石骨格には後ろ足があり、陸上で歩行できたのか？」という質問をし、それに対して、専門家も少し答えに躊躇していた。小さな頃から考古学に興味を持つことは大変良いことであり、今後、秩父の考古学を牽引する人材が育つことを期待する。

2点目、卒業式についてである。13日には、秩父第一中学校に伺った。4クラス156名の生徒が卒業した。印象に残ったのは校長先生や卒業生の言葉であった。特に、「この学年はまとまりがあり、よく話を聞く青ジャージ」という言葉が何度かあった。その青ジャージの3年生が校歌斉唱や卒業生の合唱「旅立ちの日に」で素晴らしい歌声を披露し、まとまりのある姿を感じた。地元の方々も約30名が参加しており、コロナ禍でそういう状況ではなかったが、卒業式に参加できたことを喜んでいて、私の地元の上宮地町の町会長も非常に喜んでおり、地元の方々も子どもたちの様子を知りたいと考えているのだと再認識した。また、昨日、久那小学校にも伺ったが、こちらは小規模での卒業生は7名であった。1年生から6年生までの写真が展示されており、途中で8名いた児童が転校などの理由で7名になったようである。この児童たちも小規模ながら心温まる卒業式を迎えた。その中で卒業証書を受け取った後、ステージで中学校での心構えを1人ずつ発言しており、人数が少ないので、こうしたイベントが実現できたのかと思った。サッカーをやりたい、歴史を勉強したいという児童がいて、しっかりと自分の言葉で表現する姿が印象的であった。最後に、在校生との言葉の掛け合いがあったが、式が長いためか、在校生の中には体調が優れず、体育館の事務室で休んでいる子もいた。それでも、1年生と4年生の子どもたちは責任感を持って自分のセリフをしっかりと

り話した。地域の小規模校ならではの温かい雰囲気を感じられた。

- 2 番 委 員 : 荒川中学校と第一小学校の卒業式についてである。荒川中学校の卒業生は31名で、第一小学校は32名と同じぐらいの人数であり、小規模校ならではの温かさが感じられて、良い卒業式であった。「旅立ちの日に」が、卒業シーズンに全国で歌われるのは、それが秩父発祥の歌であるというところに、非常に誇りと喜びを感じる。

私から、教育委員会の祝辞あるいは言葉について要望を申しあげたが、今回は市内の小中学校の卒業生の人数であるとか、同じように卒業の日を迎えたということ、また、秩父市教育委員会で、推進している秩父市学力向上推進プランなどが浸透して立派な今日の姿になっている証であるということについても、良かったと思う。保護者の皆様にも、学校を支援していただいているということについては、学校、その上の教育委員会を代表して、感謝を申しあげること、例年になく、締まったいい感じで、私も読んでいて嬉しかった。感謝申しあげる。

今年度が終わるが、全ての小中学校無事に、立派に卒業式が挙行されたことで、教育長はじめ事務局の諸先生方にお礼を申し上げたいと思う。忙しい時期であるが、これから新学期、新年度に向けて、健康に留意をされて、新学期の準備万端、怠りなくお願いしたい。

- 3 番 委 員 : 3月1日に古秩父湾国天然記念物指定10周年記念トークイベント座談会を拝聴した。楽しく、また古秩父湾やパレオパラドキシアについて学ぶことができた。子どもには少し難しいところもあったと思うが、座談会では子どもからの質問もあった。講師の方から「未来を育てる学びの場」「次の世代、子どもたちに伝える材料」という言葉があったが、少しでも興味を持つきっかけ、入り口になるイベントがあると良いと思った。また、夏休みには今年度、理科を大好きな小学生が増えて欲しいということで、理科大好き講座を実施していたと思うが、興味があっても日程などで参加できない子もいたと思うので、今回だけではなく、続けて計画を立てていただけるとありがたいと思った。

3月13日には秩父第二中学校の卒業式、3月24日には影森小学校の卒業式に参列した。卒業生の声かけ、別れの言葉での卒業生と在校生の掛け合いや歌もあり、感動した。また、来賓だけでなく在校生の参加も増えており、コロナやインフルエンザなどで少なくなっていた部分が戻ってきたことを感じた。4月から次の場で元気に成長していった欲しいと思う。先生方の指導に感謝申しあげる。

- 4 番 委 員 : 式典に臨席したことについて、報告する。3月13日大田中学校第79回卒業証書授与式に臨席した。本年度は13名の卒業生が小学校から9年間、同じ仲間と共に歩んできて、絆の深さが式の随所に感じられた。在校生と卒業生との送辞、答辞は、互いの存在を大切に思う

気持ちが静かに、しかし、確かに伝わってくる言葉で綴られて、そこに、温もりや憧れ、尊敬といった感情が含まれており、会場全体がその思いに包まれるような時間であった。少人数で、一人一人の顔が見える、心の通う非常に印象的な卒業式であった。

3月24日は尾田蒔小学校の第140回卒業証書授与式に出席した。34名の卒業生が背筋を伸ばし、非常に凛とした姿で証書を受け取り、6年間の積み重ねが現れており、学校の取り組みも伺い知ることができ、大変深い感銘を受けた。卒業生の1人がピアノ伴奏をし、旅立ちの日の合唱が行われたが、小学生の30余名の声とは思えないほど、しっかりと声が出て二部合唱になっており、一人一人に思いを込めた懸命に歌う姿が非常に胸に迫って、深く感動した。両校共にこの晴れの日に向けて重ねてきた日々の努力が、式典という形で大変美しく結実しているように思った。その道のりには、子どもたちが式に臨むことを理解し、フォーマルな場所にふさわしい振る舞いや身の整え方を含めて表現することができたのは、日頃の先生方の指導の確かさと、未来を望む先生方の熱い気持ちからくるものであったと改めて感じた。

小学校2年生の男の子が近戸町で事故に遭うという事態があった。登校途中、家を出たところで、背後から不注意な車がそのお子さんの上に乗り上げた。警察を主体とした交通安全の取り組みは行われているが、子どもだけでは防ぎ切れない、スマホを使いながらの運転や、理不尽な事故に巻き込まれることがあってはならないと、本当に危うい状況で一命を取り留めたという事故であった。まずは身近なところから、スマホを見ながらの運転や車は凶器になりうるものであることを忘れず、繰り返し伝えていかななくてはならないと強く思う。皆さんで知恵を出してご尽力いただければと思う。

(2)事務局からの報告事項

事務局長： 秩父市議会3月定例会の結果について報告する。秩父市議会3月定例会は、2月25日に開会し、3月17日までの21日間の会期で開催された。議会に付議された議案はすべて原案どおり可決された。これにより、先月の教育委員会定例会で報告した原谷小学校校舎等大規模改造工事の契約締結案件や秩父市学校設置条例の一部を改正する条例、新年度当初予算についても無事可決された。

次に市政に対する一般質問については、11人の議員が一般質問を行った。教育委員会に対しては、4人の議員から質問があり、その内容は本橋貢議員より「学力の向上について」、高野宏議員より「教育行政について」、内田均議員より「内田家住宅について」、「学校関係について」、浅海忠議員より「荒川西小学校の閉校と今後の対応について」の質問であった。答弁書を報告資料としてお手元に配布しているので、

後ほどご覧いただきたい。また、議会最終日には教育委員の任命等、人事案件7件が追加上程され、それぞれ同意承認された。これにより、浅海委員が再任され、任期は令和12年5月24日である。

学校指導監 : 3点、報告する。

1点目、卒業式に関することである。中学校の卒業式は3月13日に小学校の卒業式は昨日の3月24日に無事終了した。それぞれ、厳粛な中にも感動的で素晴らしい式であったと報告を受けている。委員の皆様には大変ご多忙の中、式に出席いただき、感謝申し上げます。

2点目、中学3年生の進路についてである。今年度の中学3年生の在籍数は444名で、そのうち県内公立高等学校の進学者は321名、県内国立は2名、県内私立は75名、県外私立は18名、県内定時制は2名、県内通信制は13名、県外通信制は3名、県内特別支援学校は5名、県外高等専門学校は2名、専修学校等は2名、就職希望者は1名となっている。

3点目、令和8年度当初人事異動についてである。13日に一般教職員の内示、3月24日に管理職の内示を無事に終えることができた。委員の皆様にはご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。なお、報道の解禁は3月30日午後5時以降、新聞報道は翌日朝刊の31日となるので、承知おき下さい。

教育総務課長 : 教育委員の皆様に出席いただき、年度末および年度当初の行事について、改めて報告する。まず、3月31日(火)、午前11時から市役所の本庁舎4階委員会室にて、秩父市公立学校教職員退職者等辞令交付式が行われる。役職定年及び退職を迎える教職員5名に対し、前野教育長から人事異動通知書を交付した後、埼玉県教育委員会及び秩父地区教育委員会連合会から感謝状の贈呈を予定している。なお、秩父地区教育委員会連合からの感謝状については、連合会会長である浅海職務代理者から贈呈をお願いする。

4月1日(水)、午後1時30分から歴史文化伝承館2階ホールにて、秩父市公立学校教職員就任式が行われる。就任者47名と随行者が出席し、国歌市歌の斉唱、来賓挨拶の後、小中学校それぞれの代表者に対して教育長から辞令を交付する。その後、代表者によるサービスの宣誓や就任者代表挨拶などを予定している。ご多用中、大変恐縮であるが、臨席をいただくようお願いする。

学校教育課長 : 就学援助費の入学前支給について報告する。

就学援助費は、経済的な理由により公立小中学校への就学が困難な家庭に対し、学校で必要な学用品費や修学旅行費などの一部を市が援助する制度である。入学に際し、学用品費等に費用がかかることから、新入学児童生徒向けに、小学校の場合は1人当たり57,000円を36人、中学校の場合は1人当たり63,000円に制服購入費とし

て1人当たり13,000円を加えて65人に支給している。

制服購入費については、今年度からは13,000円に増額され、6年度までの8,000円から5,000円の増額となった。今後も就学援助制度の趣旨や申請手続きの周知徹底を図るとともに、経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に引き続き適切な援助を実施していく。

保健給食課長 : 3点報告する。

1点目、2月の感染症発生報告についてである。新型コロナウイルス感染症は、小学生が20人、中学生が13人、合計33人となった。1月に比べて13人増加している。インフルエンザについては、小学生429人、中学生175人、合計604人(1月比255人増)である。また、インフルエンザによる学年閉鎖および学級閉鎖については、小学校では13校中9校、うち1校は学校閉鎖、中学校では8校中5校で措置を行っている。3月に入ってから、小学校1校のみ学級閉鎖の措置を行っているが、現在は解除されている。

2点目、今年度の給食提供についてである。大きな事故もなく、3月25日で、小学校と中学校すべてが終了となった。今年度は、米をはじめとした食材に物価高騰の影響を受け、大変苦慮したところであるが、何とか無事に提供できた。新学期の給食の提供は、小学校が4月10日、中学校が4月9日から開始となる。

最後に、給食に関連して、給食の調理・洗浄・配膳の委託業務についてである。現在、給食の調理・洗浄・配膳業務は、令和5年度から令和7年度の3年間、株式会社メフォスに業務委託を行っている。今年度の委託業務の契約満了に伴い、先月2月に2社によるプレゼンテーションを実施した。厳正なる審査の結果、令和8年度から令和10年度までの3年間、引き続き株式会社メフォスに委託することとなった。こちらは12月の議会において、3年間で717,705,000円の債務負担行為を組み、承認をいただいた。今後も安心・安全で美味しい給食の提供ができるよう努力していく。

文化財保護課長 : 冊子2冊の刊行について報告する。

1冊目は「秩父市の文化財改訂版」である。本冊子は市町村合併後の平成18年度に初版を刊行し、平成20年度に改訂版を刊行した。その後、秩父吉田の龍勢や古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群の国指定、県・市文化財の指定登録件数の増加、民俗文化財の開催日の変更など、冊子に掲載されている当時の情報から状況が大きく変化したことを踏まえ、約17年ぶりに改訂版を刊行した。

2冊目は、令和7年度武甲山展の作品集である。昨年10月31日から11月2日の3日間、秩父図書館を会場に開催された令和7年度武甲山に関する図画作文展の作品集となっている。優秀賞を受賞した

児童・生徒の作品を中心に、11月2日の表彰式の様子なども掲載している。

教育研究所長 : 秩父教育について報告する。

教育研究所の調査研究啓発事業として、令和7年度版秩父教育が完成した。本書は秩父の教育に関する情報を発信することを趣旨としており、今回の発刊で第153号となった。内容は、各小中学校の校内研修テーマに基づく研究成果の報告、初任者及び5年、10年の経験者、教職員の感想録、教育研究所としての事業報告等を掲載したものである。第153号には、各校の学力向上を柱とした多様な教育実践として、令和版秩父チャレンジに基づく授業改善、多様な学びの実現、ICTの効果的な活用、学び合いの充実、非認知能力の育成など、教職員の創意と工夫に満ちた取り組みを掲載している。本書は、こうした実践の成果を共有し、今後の教育活動に生かしていくための貴重な記録としての役割を担っている。本事業を通じて、教職員1人1人の真摯な学びと挑戦が、学校全体の教育力を高め、秩父市の教育の質を押し上げるものとなるよう、引き続き学校を支援していく。なお、本書は秩父図書館および分館にも収めている。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教育長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教育長 : 議案第8号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

生涯学習課長 : 議案第8号「秩父地区公民館長の委嘱」についての提案理由及び説明を述べる。

教育長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第8号は、原案どおり可決した。

議案第9号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第9号「秩父市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定」についての提案理由及び説明を述べる。

2番委員 : あまり細かく数値的なものを入れすぎると、逆に働きずらくなるのではないか。また、事務職員を増やすことで学校運営が安定するのではないか。

学校教育課長 : あくまでも実施計画であり、一定の数値を取ることによって、継続的に測定できるのでないかと考えている。

2番委員 : 学校における定時退校日を月4回以上、長期休業等の期間中に6日

間の閉庁日の設定を行うのは可能なのか。

学 校 指 導 監 : 定時退校日を月4回以上は、週1回ペースということで、ノー残業
デイは、各学校進んでいる。長期休業6日間の閉庁日の設定は、これ
は、ほとんどできている状況である。

教 育 総 務 課 長 : 3クラス以上無いと県費の事務職員が配置されない。小学校4人、
中学校2人市費の事務職員を付けている。財政当局からは事務の効率
化すすめ、市費の事務職員を減らすよう求められている。

学 校 指 導 監 : 秩父市では事務の共同実施を行い、そこを何とか補おうというこ
とで、ブロックを作って、手薄なところを補って、事務主幹が入って
来て、専門的に支援をして、フォローしていただいているのでなんとか
成り立ってる。

2 番 委 員 : 人員確保のため、小中一貫校を考えていかないとはではないか。

教 育 長 : 他に質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決するこ
とでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第9号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教 育 総 務 課 長 : 別紙のとおり、6件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての
事業について、後援等を承認することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、
事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 4月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教 育 総 務 課 長 : 4月教育委員会定例会について、4月22日(水)午後1時30分
から歴史文化伝承館5階第1会議室において開催することを御提案させ
ていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、4月教育委員会定例会については、4月22日(水)午後
1時30分から、歴史文化伝承館5階第1会議室にて開催する。

8 その他

学校教育課長 : 埼玉県「学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の一部を改正する条例案について、県議会で3月27日に可決、4月1日から施行予定のため、秩父市立小中学校職員服務規程の一部改正について、教育長専決したい旨、提案する。

教 育 長 : 県議会の方で可決された場合には、そのような対応をさせていただくので、お願い申し上げます。

事 務 局 : 1点事務連絡を申し上げます。

秩父地区教育委員会連合会の令和8年度第1回役員会を、4月16日(木)午後4時から歴史文化伝承館2階会議室にて開催する。浅海委員の出席をお願いします。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会3月定例会を閉会する。